

**TOHO GAKUEN
SCHOOL OF MUSIC
2022**

目次

プロローグ	3
桐朋の教育理念	10
学びの三本柱	
鍛える（ソルフェージュ、音楽理論）	11
究める（専攻実技、副専攻、選択副科）	12
超える（オーケストラ、室内楽・二重奏ソナタ）	13
桐朋の学び	
ピアノ専攻	16
弦楽器専攻	17
管楽器専攻	18
打楽器専攻	19
ハープ専攻	20
古楽器専攻	21
声楽専攻	22
指揮専攻	23
作曲専攻	24
音楽学専攻	25
カリキュラム	26
指導陣	28
特別レッスン	32
桐朋生のキャンパスライフ	
桐朋生の1日	35
活躍する桐朋生	38
コンサートのスケジュール	40
キャンパスガイド	42
桐朋生の進路・進学	
高校卒業後の進路	45
大学卒業後の進路	46
留学について	47
大学院への進学	48
特待生・奨学金制度	49
入試情報	50
アクセスマップ	52

楽譜と、 それぞれの音楽と

先人たちが紡いできた音楽を、

どのように受け止め、どう向き合いながら、自分の音にしていくのか。

音楽に正解はない。

100人いれば100通りの音楽がある。

桐朋学園の指導者として活躍する3人の音楽家。

それぞれのこれまでの歩みが、楽譜に刻まれている。

あなたはこれから、楽譜に何を記すだろうか。

「音楽家としても、師としても、彼の教えは今も生きている。」

—— 長谷川 陽子

留学先で師事していたノラス先生には、あらゆることを教わりました。彼はよく、自分が演奏する姿を「好きな角度から見てごらん」と、披露してくれました。近づいて指の角度を調べたり、背後から弾く姿を見てみたりと、くま

なく研究したものです。彼は自分で書き込んだ楽譜を渡してくれたので、そこから学べることもたくさんありましたね。音符に込められた作曲家の想い、歴史、そこにその音がある理由……演奏技法だけではなく、曲の背景についても

丁寧に指導してくれました。私のレッスンでも、生徒の前で弾いてみせたり、楽譜に書き込みをしてレクチャーしたりすることも多く、音楽家として、師として、彼の教えを受け継いでいると日々実感しています。

[バッハ作曲/無伴奏チェロ組曲第1番 アルマンド] この楽譜は演奏用ではなく、指導の際に用いているもの。いわば、“私オリジナルの参考書”ですね。バッハの楽譜は、永遠に答えが見つからない謎解きのような存在。何度も演奏し、楽譜に記されていない彼の想いを自分なりに解釈した内容をここに書き込んでいます。

Bach, Johann Sebastian / 6 Suites a Violoncello Solo senza Basso BWV 1007-1012 / Scholarly-critical performing edition / Six Suites for Violoncello solo / Edition no. BA5217 / ISMN 9790006566341 / Used with permission of Bärenreiter-Verlag

[ドヴォルザーク作曲/チェロ協奏曲] ノラス先生の書き込みがある楽譜です。愛する人への想いが込められたという曲の生い立ち、リズムに隠された作曲家の心情なども学んだ上で、私なりの書き込みも加えています。今見返しても新たな発見があり、年数が経つほど曲への理解が深まります。

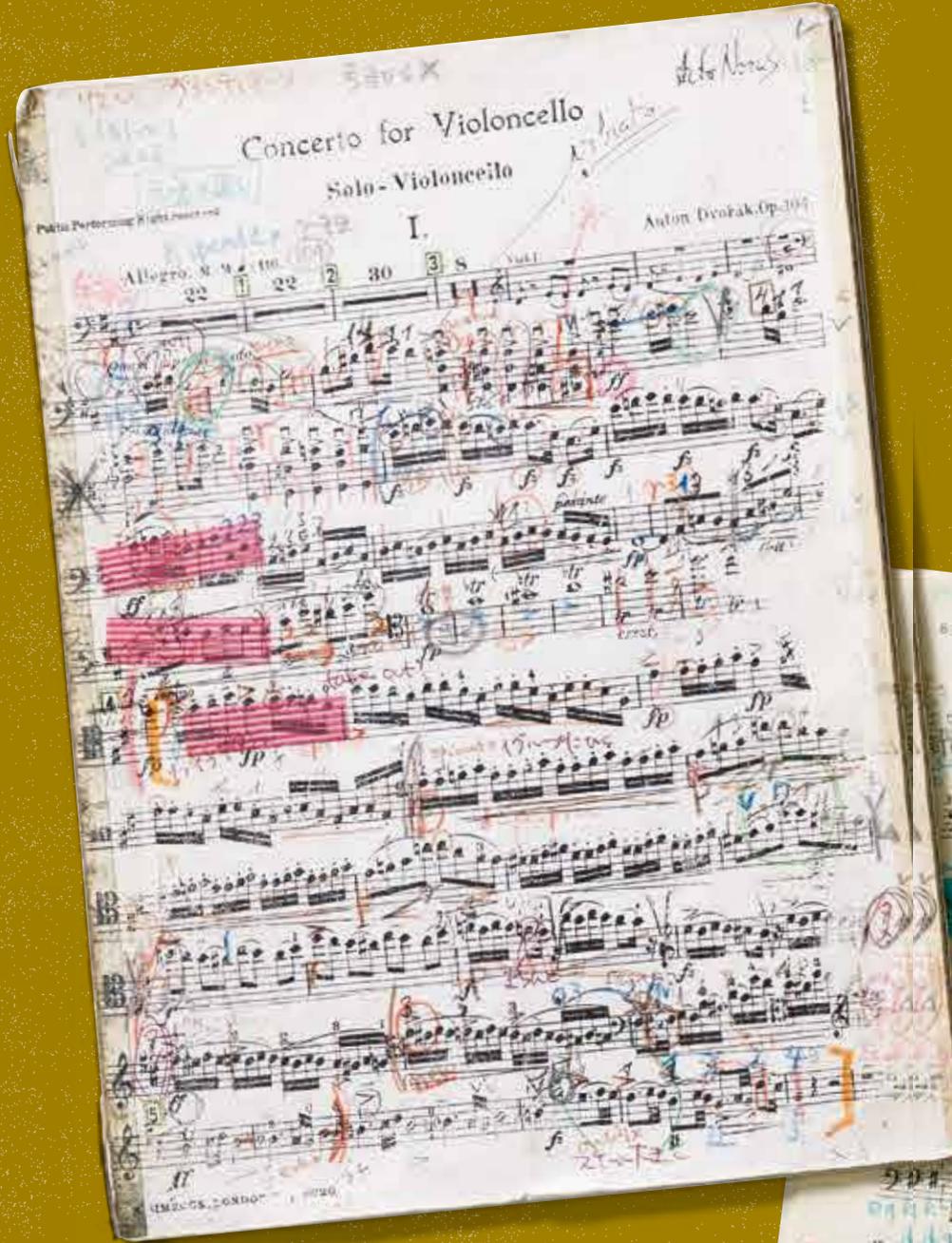
Antonin Leopold Dvořák / Cello Concerto op. 104 / 掲載楽譜: Simrock 発行 チェロ独奏パート譜

長谷川 陽子
チェリスト

9歳より井上頼豊氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を経て、シベリウス・アカデミーにてアルト・ノラス氏に師事。17歳よりコンサート活動を開始。桐朋学園大学准教授。



師から教え子へと音楽を
受け継ぐ



異なる教えで 表現を深める

「二人の教えがあったからこそ自分の音楽を見い出せた。」

—— 久保田 巧

日本で師事していた江藤先生は、明確な指示をくれる方。レッスンでは、“曲をどう演奏するか”を考える機会が多かったですね。彼の指導を忠実に再現すると、途端に音楽が成熟して聴こえるんです。一方、ウィーンで師事していたシュナイダーハン先生のレッスンでは、“曲をどう理解するか”を考える時間がたくさんありました。演奏の基礎を固めた上で、曲と向き合う大切さを教わったからこそ、今の私があります。演奏することは、演劇で役を演じるようなもの。音符やセリフを正しく覚えるのは当然ですが、その奥にある情景や心情まで伝えなくては、感動を届けることはできません。もし、どちらか一人の教えしか受けていなければ、ここまで深く音楽を体得できてはいなかったと思います。



[シベリウス作曲/ヴァイオリン協奏曲] 江藤先生の指導は、指使いなど技法を重視したものの。言われたことはすべて楽譜に書き込んでいます。当時は“なぜそうなのか”まで考える余裕はあまりなかったのですが、今見返すと、彼の意図に改めて気づかされます。何十年経っても教わることがある楽譜です。

Concerto in D minor, Op. 47 for Violin and Piano By Jean Sibelius / Violin Part edited by Zino Francescatti / Copyrights ©1942 and 1961 (Renewed) International Music Co.[Catalog Number : 529] (<https://internationalmusicco.com/>)



[シベリウス作曲/ヴァイオリン協奏曲] シュナイダーハン先生のレッスンでは、楽譜への書き込みが原則禁止。当時、使用していた楽譜には、必要最低限の書き込みしかしていません。楽譜をじっくり読み解いて曲を理解できれば、どう弾くかは自然に分かってくる。先生からの指示は、自分の音楽として吸収した曲の根底に今でも生きています。

Concerto in D minor, Op. 47 for Violin and Piano By Jean Sibelius / Violin Part edited by Zino Francescatti / Copyrights ©1942 and 1961 (Renewed) International Music Co.[Catalog Number : 529] (<https://internationalmusicco.com/>)

久保田 巧
ヴァイオリニスト

11歳で江藤俊哉氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科を卒業後、ウィーン国立音楽大学にてヴォルフガング・シュナイダーハン氏に師事。84年、ミュンヘン国際音楽コンクールで日本人初の優勝。桐朋学園大学教授。



【ガーシュウィン作曲/スワニー】 歌詞を書き込んでいるのは、原曲の歌の抑揚、リズムを感じるためです。日本語に比べ、英語の歌詞は1音にある言葉の動きがとても独特で、書くことで気づかされることもたくさんありました。他にもどこで曲を盛り上げるか、音をどうつなげていくかなどを自分なりの方法で書き込んでいます。

Words by IRVING CAESAR Music by GEORGE GERSHWIN / Copyright © 1919 (Renewed) WC MUSIC CORP. and IRVING CAESAR MUSIC CORP. / All Rights Administered by WC MUSIC CORP. / All Rights Reserved / Used By Permission of ALFRED MUSIC



1992年にレコーディングした「SWANEE」のCDです。「自分が手に取りたいものを」と考え、デザインについても私から提案しました。

廻由美子ブレイズ「ロデオ」&「スワニー」他
ナミ・レコード

「SWANEE」が入っている曲集です。CD制作の経験も生かして校訂しました。
ガーシュウィン：ソングブック 全音楽譜出版社

「好奇心は、音を拓いてくれる。
経験は、音を育ててくれる。」

—— 廻 由美子

音楽は、あらゆる角度から研ぎ澄ますことができるものです。私とはにかく好奇心旺盛で、演劇、映画、文学、ファッション……様々な分野から刺激を受けて育ってきました。一見、曲とは関係がなさそうな知識や経験も、あるとき、ピタッとつながったりしますからね。「SWANEE」の作曲者であるガーシュウィンについてもそうです。例えば、彼の父親は移民で、

彼の名前もロシア読みだと違って……と、興味を持って調べれば調べるほど彼に詳しくなり、彼の中で響いていた音が聴こえてきました。歴史や生い立ちに興味を持ったからこそ、よりこの曲を理解することができたのでしょうか。何にでも好奇心を持ち、経験を積み重ねていくことは、ミュージシャンにとって欠かせないことだと思います。

廻 由美子 ピアニスト

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を卒業後、渡米し、インディアナ大学音楽学部にてジョルジュ・シベック氏に師事。コンサート活動、CDリリース、楽譜校訂など、ジャンルにとられない活発な活動を展開。桐朋学園大学教授。

好奇心で音楽を
切り拓く



桐朋の教育理念

【ディプロマポリシー】

深く専門教育を究めると同時に幅広い教養教育を修得、
自由で豊かな感性を持つ個性ある学生

現代の音楽社会のさまざまな課題に対処し
解決する能力を身につけ社会に貢献できる学生

演奏や創作、作品理解などについて卓越した能力を基礎に、
専門の枠を超えて新しい音楽文化を創造できる学生

桐朋学園音楽部門の歴史は、1948年、「子供のための音楽教室」開設から始まります。その教育は、幼児期の自然な歌、あるいは身の回りの音と戯れる喜びから発露する表現への欲求をすくい上げ、早期音楽教育の出発点として位置付けようとする試みでした。「子供のための音楽教室」はその後、教室に通う子供たちの成長に応じて高校、大学、大学院へと展開し、早期教育の成果を一貫した教育理念のもとで発展させる場として、今日まで多くの

優れた音楽家を育成してまいりました。

本学の教育は、専攻実技や合奏教育を中心に、ソルフェージュや音楽理論などの専門科目、語学科目、一般教養科目を配し、これら相互関連の総体を学生・生徒の音楽形成の場として捉えています。なかでも、音楽的感性を鍛える「ソルフェージュ」、表現の可能性を究める「実技」、他者と出会い、自己の枠を超える「合奏」の3つを教育の柱として、柔軟で開かれた教育を実践していきます。

鍛える

究める

超える

鍛

究

超

鍛える

形のない「音」を捉え、使いこなすために不可欠なソルフェージュ。桐朋のソルフェージュ教育は、「音楽する耳」を鍛えます。訓練された繊細な聴覚は、和声法などの音楽理論に裏打ちされることで精度を増し、客観性を獲得します。

す。自身の音を聴き、的確に批評できる耳が、力強く説得力のある表現を生み出すのです。ソルフェージュ教育によって育まれた「音楽する耳」は、生涯を通じて音楽家としての成長を支えてくれるでしょう。



響きの細部を捉える
「耳」をつくる
【ソルフェージュ】

ソルフェージュ教育は、桐朋建学のルーツといえるものです。高校と大学初級では、週2回の授業で基礎力の定着に十分な時間をかけ、大学中級以上では、教員の個性と専門性がより際立つ講座を展開します。基礎を重視する指導がその後の大きな成長を促し、音の表情の細部を余さず捉え、分析する耳を育てます。



音楽家として
必要な理論を身につける
【音楽理論】

音楽理論を学び、音楽の構造や手法を知ること、一つひとつの音の意味を正確に捉えること、音楽を言語のように組み立てることが可能になります。音楽理論に精通することで得られる作品に対する深い理解は、音楽表現の純度を高め、バランス感覚を鍛えます。それが聴衆に感動を与える音楽を生み出します。

鍛 究
超

究めめる

極めて実践的な実技教育ですが、そこで示されるのは音楽を究める道を進むための指針です。「音楽を究める道」とは、日々の生活、日々の学びによって築かれます。音楽の探究に終わりはありません。

桐朋の教育の基幹は、一対一の個人指導で行われる実技教育です。これは、学生・生徒を自立した音楽家として認め、主体性を尊重することによって、「訓練」ではなく「教育」と呼べるものになります。ここで行われるのは



開かれた学びの場で 個性を伸ばす

【専攻実技】

原則として週1回60分の個人レッスンが行われ、高校から大学、大学院まで、同一教員による継続的な指導を基本とします。実技試験は年2回行われ、コンサートホールでの卒業試験は一般公開されます。内外の著名な音楽家を招聘して行う公開レッスンや公開講座、マスタークラスなど、研鑽の機会も多く用意されています。

二つの専攻で キャリアの幅を広げる

【副専攻】

副専攻は、主専攻以外の実技を主専攻同様に学ぶことのできる制度で、大学生を対象としています。希望者は試験を受け、合格すれば大学1年次から3年次のいずれからでも受講できます。レッスンは週1回60分。4年次には卒業試験があり、修了要件を満たせば「副専攻修了証」が授与されます。

興味を育て可能性を広げる

【選択副科】

在籍年次に関わりなく高校生から大学生まで履修可能。専攻以外の実技レッスンを受講することができます。レッスンは週1回30分（声楽は20分）。積極的な学びが視野を広げます。なかでも本学の副科指揮は、優れた指揮者を多く輩出していることで知られています。専攻実技同様の充実した教育が、新たな可能性を拓きます。

鍛 究
超

超える

他者の奏でる「音」に耳を澄まし、自らの「音」と呼応させ音楽をつくり上げるアンサンブル。楽譜を深く読み解き、音程やアーティキュレーション、リズムなどを緻密に合わせ、あるいは主張し、音楽を形づくりまします。本学創始者の一人、

斎藤秀雄先生により始められた「桐朋学園オーケストラ」に代表される合奏教育は、実技教育と並んで桐朋の学びの軸となっています。仲間とともにつくる音楽は、個人の表現の枠を超え、かけがえない音楽体験となります。



伝統のオーケストラ教育で 合奏技術を磨く

【オーケストラ】

オーケストラの授業では、専攻別アンサンブルで合奏技術の基本やオーケストラ・スタディなどを学んだのち、フルオーケストラによる実習に進み、基礎から段階的に習得します。これらの合奏教育は、高校から大学まで一貫したカリキュラムに沿って行われます。これまでに国内外のオーケストラに在籍する楽団員を多数輩出しています。



仲間とともに 音楽をつくり上げる

【室内楽・二重奏ソナタ】

履修希望者は自主的にグループを編成し、年度初めに申請します。3人以上であれば楽器編成に特別な制約はなく、室内楽と2台ピアノでは高校生と大学生がグループを組むこともできます。年間10回以上のレッスンを経て年度末試験を受け、成績優秀なグループは翌年度の春に開催される室内楽演奏会に出演することができます。



桐朋の学び

桐朋の教育は、個の尊重が大きな特色です。
のびやかな学習環境が、個性の発露と個人の
自立を促します。音楽への情熱を支えに日々
模索し、自ら道を切り拓き、目指す音楽を創り
出してゆく強い精神力を育みます。

ピアノ専攻	16	指揮専攻	23
弦楽器専攻	17	作曲専攻	24
管楽器専攻	18	音楽学専攻	25
打楽器専攻	19	カリキュラム	26
ハープ専攻	20	指導陣	28
古楽器専攻	21	特別レッスン	32
声楽専攻	22		

ピアノ専攻

Piano Course



国際的に活躍するピアニストを数多く輩出しているピアノ専攻。ソロはもちろん、室内楽や伴奏などの様々な演奏形態を、レッスンや授業を通じて体系的に学ぶことができます。アンサンブルの機会が豊富にあることも魅力のひとつ。高校生から大学院生まで、個性ある仲間たちと楽しみながらも妥協せずに音楽をつくっていくことは、何にも

まさる大きな喜びです。また、海外の著名な音楽家による特別レッスンや公開講座、学内外の演奏企画、ソロやコンチェルトのコンペティションなど、多彩なプログラムとチャレンジの場を用意しています。本学での学びを通して、一生音楽を愛し、それを人々に伝えることができる豊かな感性と魅力あるピアニストを育てていきます。

Focus

豊富な演奏の機会で 自分に相応しいレパートリーを確立

「桐朋 木の香りコンサート」や学内のコンペティションなど、多くの演奏機会に恵まれています。また、年2回の試験課題は、様々な時代や様式の作品を網羅。ピアノ協奏曲も含めた多様な楽曲を学ぶことで、膨大なピアノ作品の中から自分に相応しいレパートリーを確立できるよう工夫されています。

弦楽器専攻

Stringed Instrument Course

〈ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス〉



弦楽器専攻では、自由で開かれた校風のもと、個性を大切に伸ばす教育を実践しています。経験豊富な指導陣が個々の可能性を導き出し、スケールの大きな演奏家へと育てます。さらに、国内外の音楽家を招聘して行うマスタークラスをはじめ、貴重な学びの場を多数用意。室内楽やオーケストラなど、アンサンブルのカリキュラムも充実し

ています。アンサンブルの授業やレッスンでは、合奏のための技術や奏法、リハーサルの方法などを基礎から指導。学年や専攻の異なる仲間とともに一つひとつ音を創り上げてゆく時間は、豊かな表現力を養うための糧となります。それは同時に、助け合い、協力し合う仲間同士の一体感が生み出される特別な経験となるでしょう。

Focus

実践的なプログラムで オーケストラを基礎から学ぶ

高校と大学のいずれから入学しても、初めに楽器別の合奏でアンサンブルの基礎を学びます。高校3年次から大学までの5年間、または大学からの4年間は、高大混成のオーケストラで合奏の技術を基礎から習得。基本的なレパートリーから高難度の作品まで、著名な指揮者のもとで段階的に実習します。

管楽器専攻

Wind Instrument Course

〈フルート／オーボエ／クラリネット／ファゴット／サクソフォン／ホルン／トランペット／トロンボーン／ユーフォニウム／チューバ〉



打楽器専攻

Percussion Instrument Course

〈パーカッション／マリンバ〉



高校から大学までの期間は、身体的にも精神的にも大きく成長する大切な時期。それは管楽器を学ぶ上でも重要な意味を持ちます。実技指導では、個性を尊重するとともに、演奏の基礎となるソルフェージュを重視。徹底した基礎教育は、技術を向上させるだけでなく音楽そのものへの理解を深め、自ら探究する力を育みます。さらに、

オーケストラをはじめ、木管・金管五重奏など各種編成のアンサンブルのための講座を用意。多様な形態のアンサンブルを効率よく学び、学内外で行われるコンサートへの出演によって、管楽器奏者にとって大切な合奏の技術を実践的に習得します。音楽家として多くの経験を重ねてきた指導陣が、学生たちの表現への意欲を引き出します。

Focus

多彩なアンサンブルを学び、 楽器への理解を深める

編成や規模の違うアンサンブルを学ぶことで各楽器の特性を理解し、編成ごとに異なる演奏や表現方法を身につけます。プロオーケストラさながらの意欲的なプログラムで年間7～8回のコンサートを行い、一流の指揮者やソリストと共演。全専攻生がオーケストラの一員としての演奏を経験します。

打楽器の種類や形態は多種多様で、音楽表現も多彩です。打楽器奏者は、高い専門性と同時に広範な知識や経験を求められます。このため本学では、パーカッションとマリンバのどちらかを主専攻として選択しながら、もう一方も学ぶことのできるダブルレッスン制度を設けています。実技レッスンでは一人ひとりと綿密なコミュニケーション

を取り合い、きめ細かい指導で演奏に必要な技術とセンスを基礎から養います。また、オーケストラや室内楽などアンサンブルの機会も豊富で、合奏について基本から体系的に学習します。世界中から学びに訪れる留学生も多く、文化的・人間的な交流の輪が広がることも特徴のひとつであり、音楽界での多岐にわたる活躍が期待されます。

Focus

アンサンブルの経験が 奏者としての音をつくりだす

パーカッションとマリンバ、2種類のアンサンブルのためのカリキュラムを設置。アンサンブルを通して耳を鍛え、学生・生徒たちの技術力と音楽性の向上を図ります。また、作曲など他専攻生と積極的に交流し、新作初演などの経験を通じて打楽器奏者としての可能性を広げていきます。

ハープ専攻

Harp Course

古楽器専攻

Period-Instrument Course

〈バロック・ヴァイオリン／バロック・チェロ／バロック・オーボエ／フラウト・トラヴェルソ／リコーダー／ヴィオラ・ダ・ガンバ／チェンバロ〉



ハープの歴史は古く、その音色は何世紀も前から人々を魅了してきました。本学では、日本におけるハープ奏者の活動の場を広げ、その可能性を切り拓いてきた第一人者の指導により、正しい演奏様式とテクニックを学ぶことができます。また、オーケストラや室内楽におけるハープの重要な役割に注目し、ソリストだけでなく、アンサン

ブル奏者の育成にも力を入れています。公開レッスン形式で行われるアンサンブルやオーケストラ・スタジオの授業では、ハープのための重要なレパートリーを取り上げ、優れたアンサンブル奏者として活躍するために必要な技術と知識を基礎から教えます。ハープ奏者に必要な要素を体系的に指導し、次代を担う演奏家として送り出します。

Focus

他楽器との共演が 演奏力・表現力を高める

毎年12月に開催する「ハープアンサンブルの夕べ」は、複数のハープを使ったハープ同士のアンサンブルと、他楽器とのアンサンブル作品で構成するコンサート。専攻生全員が出演します。専攻生が互いに成長を確認する機会であると同時に、他専攻生と共演し交流を深める貴重な機会でもあります。

20世紀中頃以降、音楽作品を演奏する際にそれが作曲された時代の楽器を使用した解釈が試みられてきました。こうした解釈で使用される楽器は一般的に古楽器（ペリオド楽器）と呼ばれますが、本専攻はこの古楽器を専門的に学びます。レッスンやアンサンブルの授業によって演奏技術を高めるだけでなく、主として17世紀、18世紀の

楽器や演奏法、記譜法などの歴史について研究を深めながら、当時の音楽を現代に魅了させるための方法を習得していきます。近年、古楽器による演奏は19世紀以降のレパートリーも視野に入れるようになり、モダン楽器の演奏家が古楽器演奏の方法を取り入れることもあります。古楽器専攻の重要性はさらに高まっていくでしょう。

Focus

様々なタイプのチェンバロにふれ、 探究に合わせて学習する

チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノなどの鍵盤楽器や、バロック・ヴァイオリンやヴィオラ・ダ・ガンバ、フラウト・トラヴェルソやバロック・オーボエなどの多様な楽器の演奏を通して、楽器の構造、歴史、ピッチ、音律などその時代ならではの音楽習慣を学習し、多角的な考え方を身につけます。

声楽専攻

Vocal Music Course



自らの身体そのものが楽器となる声楽。正確な発声法と呼吸法、充実したソルフェージュや語学教育が、声楽家としての基礎を形づくります。高大一貫の専門教育で音楽家に必要な知識と教養を身につけ、高い能力と個性を併せ持つ優れた演奏家へと成長する力を蓄えます。オペラクラスでは、歌唱や演技はもちろん、舞台をつくり上げ

る工程全般を学びます。現役のオペラ歌手が助演で参加することもあり、プロの役作りや本番までの準備の方法などを間近に見ることができます。高度なアンサンブルや合唱の授業、海外からの招聘講師による公開レッスンなども充実。器楽専攻生との交流は、音楽を愛する心を育むだけでなく、一生の宝となるでしょう。

Focus

5カ国語によるディクショで正しい発音を学ぶ

言葉の発音法を学ぶディクシヨンの授業が充実。イタリア語、ドイツ語、フランス語、日本語、ロシア語によるカリキュラムを用意。歌曲などを教材に、言語に合わせた正しい発音や発声法など、歌うための基礎的な技術を身につけます。様々な言語にふれることで、自分に合う分野や方向性を模索していきます。

指揮専攻

Conducting Course



指揮者は、演奏の現場で起こる様々な問題を円滑に解決する高い能力が求められます。指揮者は音を出しません。しかし、音楽への理解を深め、現場の奏者達と良好な関係を築くためには、ソルフェージュや音楽理論などの基礎を徹底して身につけ、ピアノや副科実技のレッスンなどで楽器演奏にも習熟することが不可欠です。優れた

演奏家でもある器楽専攻生たちとの交流は、指揮者には欠かせないコミュニケーション能力や積極性を養います。本学創始者の一人、斎藤秀雄先生から始まる桐朋の指揮の伝統を受け継ぎ、発展させてきた指導陣による教育と、オーケストラの生の音に日常的に触れることのできる環境は、指揮を学ぶ上で大きな魅力となります。

Focus

演奏会のリハーサルを見学し、生きた音楽を学ぶ

オーケストラなどのリハーサルを見学することは、著名な指揮者や演奏家たちのリハーサルでのコミュニケーションや練習プロセスを間近で見学する良い機会となります。特に、オペラを一からつくり上げる現場の空気を体感することは、将来、指揮者として活躍するための貴重な経験となるでしょう。

作曲専攻

Composition Course

〈創作芸術／編作芸術〉



音楽学専攻

Musicology Course



作曲専攻では、しっかりした基礎の習得と、創作活動の実践につながる教育を目指しています。高校・大学ともに、一流の指導陣による実技レッスンと、音楽理論や作曲法のクラスを用意。基礎から応用まで段階的に指導します。毎年開催する作曲作品展、国内外の著名な音楽家を招いての公開講座や集中講義など、発表、研究の機会

も数多く提供。また、演奏家とのコラボレーションにより、楽器と奏法についてのバラエティに富んだ探究の場を豊富に設けています。大学では、創作芸術と編作芸術とに専攻が分かれ、創作芸術では和声・対位法・管弦楽法・コンピュータ音楽実習など、編作芸術では合唱曲・吹奏楽曲・管弦楽法などのカテゴリを設定しています。

Focus

試演会を通じて多くの個性と交流し、友情を育む

本学には、現代音楽に関心があり、現代作品の演奏に積極的な器楽専攻生が数多くいます。作曲専攻生と器楽専攻生との距離が近く、学生同士で試演会を企画するなど、高次の区分なく自作品を音にする機会に恵まれています。様々な専攻の友人たちは、卒業後も助け合える大切な仲間となります。

「音楽学」とは音楽に関する学問の総称。本専攻では、学生の音楽的素養を生かしながら、西洋音楽史、民族音楽学、音楽理論、音楽美学、ポピュラー音楽学など、様々な角度から音楽について考えます。実技も頑張りながら学問に触れることができるのが、桐朋の特徴。指導にあたる専任教員は、著書や論文の執筆、国内外での発表を毎

年行っており、音楽史を掘り下げる「専攻演習」、外国語の文献を読み解く「楽書講読」など、多彩なプログラムを用意しています。教員と学生との自由で活発な議論によって、新しい世界が開かれることでしょう。国内有数の資料数を誇る図書館との連携によって「聴く勉強」が充実していることも、大きな特色です。

Focus

自由で開かれた学習環境のもと、自身の音楽学を探る

音楽学専攻の必修科目は少人数のゼミ形式。一人ひとりにきめ細かく対応し、卒業論文では担当教員が毎週1時間の指導を行います。少人数のため演習形式の授業が多く、研究発表の機会も豊富。教員と学生の距離が近く、対等に議論を交わすことのできるリベラルな雰囲気も特徴のひとつです。

カリキュラム

本学は、1コマ90分という時間割設定と、授業開講期間、試験期間、文化祭などの年間予定を高大で共有することで、高校から大学までの一貫性を重視したカリキュラム編成を実現しています。学生・生徒の能動的な学びを引き出す豊富な選択科目、学習効果を高めるレベル別少人数授業なども大きな特色です。ここでは、そうした特色を生かした科目を抜粋しています。カリキュラム全般については本学ホームページに掲載しています。

詳細はWebへ



高校

大学

専門科目

ソルフェージュ

必修科目。高大ともにグレード別少人数編成によるクラス授業を行っています。個人のグレードは所定の試験を経て一定期間ごとに更新され、常にレベルに合った指導を受けることができます。大学中級以上は多彩な講座の中から自由に選択することができます。

和声

高校からの入学者は大学1年次までの4年間必修、大学からの入学者は3年次までの3年間必修です。大学からの入学者は和声既習者と未習者とでクラスを分けるため、無理なく確実に学習できます。和声の習得が、音楽理論や演奏法などへと発展します。

音楽理論・音楽史

音楽理論は、高校では音楽理論基礎、大学では音楽理論概論で楽典などを学んだ後、楽曲分析などへと展開します。音楽史は、高校では2、3年次に、大学からの入学者は1年次に概説を学んだ後、より専門的な視点で「音楽を考える力」を育みます。

語学科目

英語は高校3年間必修です。高校2年次からは独・仏いずれかを履修することができ、3年次で取得した独・仏の単位は桐朋学園大学の単位として認定されます（高大連携科目）。大学では英・独・仏・伊の各国語から1カ国語以上を選択します。

室内楽・二重奏ソナタ（2台ピアノを含む）

自由選択科目。室内楽や二重奏ソナタのレッスンを通年で受けることができます。年次による編成の制限がある以外にメンバー構成の制約はなく、高校生と大学生でグループを編成することも可能です。指導教員を2名まで希望することができます。

専攻別アンサンブル

弦・管・打・ハープ・古楽器・声楽専攻生を対象とする授業。対象年次は専攻ごとに異なります。楽器専攻生は専攻楽器同士での合奏、または異なる楽器との合奏を通じて、声楽専攻生は合唱を通じて、アンサンブルの技術と表現を基礎から学びます。

オーケストラ

高校3年次の弦楽器専門生と大学の弦・管・打・ハープ専攻生を対象とする通年授業。高校生と大学生とでひとつのオーケストラを編成し、指揮者のもとでのオーケストラ演奏を学びます。その後、演奏会ごとに設置されるオーケストラでさらに経験を積みます。

一般教養科目

特色ある講座の中から、学生・生徒が自身の興味や必要に応じて選択し、履修することができます。人文科学、社会科学、自然科学、身体活動の各分野において、音楽家をめぐる今日的な課題について多角的に考えるための講座を設置しています。

高校からの入学者

大学からの入学者

共通

	桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学)			桐朋学園大学 音楽学部			
	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	4年次
専門科目	ソルフェージュ						
	和声Ⅰ	和声Ⅱ	和声Ⅲ	応用和声Ⅱ			
				和声法Ⅰ	和声法Ⅱ	応用和声Ⅰ	
	音楽理論基礎	音楽理論応用		音楽理論(分析)			
				音楽理論概論		※和声法Ⅱの単位取得者	
		音楽史		音楽史概説			
	専攻実技						
	副科実技						
	室内楽	室内楽・2台ピアノ		室内楽・二重奏ソナタ (2台ピアノ含む)			
	専攻別アンサンブル						
語学科目	国語			日本語表現			
	英語			ドイツ語/フランス語(中級)			
		ドイツ語/フランス語(初級)		ドイツ語/フランス語(初級)			
				イタリア語			

Teacher-training course

▶ 教職課程

卒業単位の他、教職課程に定められた単位を修得することによって、右記の教員免許状を取得できます。教員免許状を取得するためには、教職に関する科目の他、学外での介護等体験や教育実習などの実習を含む単位が必要となります。本学学生は積極的に教職課程を履修しており、約7割の学生が卒業時に教員免許状を取得しています。

中学校教諭一種免許状(教科:音楽)

高等学校教諭一種免許状(教科:音楽)

※大学のみ

指導陣

2021年度

学長	梅津 時比古	学生部長	合田 香
理事	長瀬 浩平	図書館長	米田 潔弘
学部長	小森谷 泉	高校部長	安田 和信
研究科長	小森谷 泉	音楽教室部長	大橋 浩子
教務部長	中井 恒仁		

実技等指導陣

※ 教員名の右上の印は以下の職名等を示します。
 * 大学専任教員 ☆ 高校教諭 ◇ 特命教授 ● 特任教授 □ 特別招聘教授 ○ 特任講師
 ※ 副科として掲載している教員は、当該専攻の副科実技のみを担当します。

ピアノ

中井 恒仁 * (主任)	朴 久玲 *	田崎 悦子 ●	江澤 聖子	佐藤 彦大	広瀬 康	【副科ピアノ】
新井 博江 *	吉村 真代 *	田部 京子 ●	大西 真由子	清水 由香里	三上 桂子	小澤 英世
小森谷 泉 *	上野 久子 ◇	玉置 善己 ●	大伏 啓太	高田 匡隆	三原 未紗子	小田 裕之
清水 和音 *	海老 彰子 ◇	村上 弦一郎 ●	金子 恵	高橋 多佳子	三輪 郁	垣内 敦
仲道 郁代 *	岡本 美智子 ◇	若林 顕 ●	川島 伸達	竹内 啓子	山崎 牧子	佐藤 勝重
奈良場 恒美 *	山田 富士子 ◇	青柳 晋	河村 晋吾	外山 啓介	楊 麗貞	中川 賢一
廻 由美子 *	Pascal Devoyon ●	有森 直樹	木村 徹	鶴園 紫磯子	吉武 優	中川 朋子
阿部 美果子 *	伊藤 恵 ●	今井 彩子	後上 聡司	練木 繁夫	渡邊 康雄	松谷 園子
有吉 亮治 *	須田 眞美子 ●	入江 一雄	齋木 隆	沼沢 淑音		宮木 麻衣

弦楽器

▼ヴァイオリン・ヴィオラ	辰巳 明子 ◇	堀 正文 ●	戸田 弥生	山崎 伸子 ●	▼コントラバス	【副科ヴァイオリン】
久保田 巧 * (主任)	原田 幸一郎 ◇	伊藤 亮太郎	豊嶋 泰嗣	音川 健二	市川 雅典 *	梅津 美葉
景山 誠治 *	池田 菊衛 ●	木野 雅之	水谷 晃	刈田 雅治	新井 綾香	寺沢 希美
加藤 知子 *	磯村 和英 ◇	久保 良治	山口 裕之	菅野 博文	石川 滋	
豊田 弓乃 *	漆原 啓子 ●	佐々木 亮	▼チェロ	菊地 知也	稲川 永示	
神谷 美千子 *	惠藤 久美子 ●	篠崎 友美	長谷川 陽子 *	木越 洋	西田 直文	
田中 晶子 *	清水 高師 ●	篠崎 史紀	倉田 澄子 ◇	北本 秀樹	星 秀樹	
石井 志都子 ◇	竹澤 恭子 ●	清水 醍輝	堤 剛 ◇	銅銀 久弥	本間 達朗	
庄司 紗矢香 ◇	徳永 二男 ●	鈴木 康浩	上村 昇 ●	古川 展生	渡邊 章成	
篠崎 功子 ◇	藤原 浜雄 ●	店村 眞積	毛利 伯郎 ●	松波 恵子		

管楽器

▼フルート	▼オーボエ	▼クラリネット	▼ファゴット	▼ホルン	▼トランペット	▼ユーフォニウム
神田 寛明 *	蠣崎 耕三 * (主任)	亀井 良信 *	岡本 正之 ●	上原 宏 *	長谷川 潤 *	佐藤 采香
白尾 彰 ●	広田 智之 ●	勝山 大輔	井上 俊次	猶井 正幸 ●	佛坂 咲千生	▼テューバ
倉田 優 ○	浦 丈彦	四戸 世紀	佐藤 由起	今井 仁志	山本 英司	久保 和憲
泉 真由	小野寺 彩子	野田 祐介	武井 俊樹	吉永 雅人	▼トロンボーン	渡辺 功
梶川 真歩	高橋 舞	芳賀 史徳	福井 弘康		神谷 敏 ●	
小池 郁江	最上 峰行	藤井 洋子	▼サクソフォン		葉田 晃	
高野 成之		三界 秀実	武藤 賢一郎 ●		古賀 光	
		吉野 亜希菜	小山 弦太郎			

打楽器

▼パーカッション	中村 友子	篠崎 史子 ●	▼バロック・ヴァイオリン	▼バロック・オーボエ	▼ヴィオラ・ダ・ガバンバ	【副科チェンバロ】
小島 光 ●	藤井 里佳	井上 美江子	寺神戸 亮 ●	桐山 温子	Emmanuel Girard ●	上尾 直毅
近藤 高顕 ○	▼パーカッション・マリリンバ	篠崎 和子	戸田 薫	▼フラウト・トラヴェルソ	▼チェンバロ	【副科オルガン】
▼マリリンバ	安江 佐和子 ○		▼バロック・チェロ	有田 正広 ●	有田 千代子 ●	水野 均
安倍 圭子 ●			Emmanuel Girard ●	▼リコーダー	上尾 直毅	
			酒井 淳 ●	古橋 潤一	渡邊 順生	

声楽

谷 茂樹 * (主任)	藤川 泰彰 ☆	菌田 真木子	半田 美和子	安井 陽子	沼尻 竜典 *	梅田 俊明
大橋 ゆり *	落合 美和子	丹藤 麻砂美	牧川 修一	嘉目 真木子	飯守 泰次郎 ●	村上 寿昭
腰越 満美 *	駒井 ゆり子	塚田 裕之	松井 康司	与那城 敬	小澤 征爾	吉田 行地
宮本 益光 *	里中 トヨコ	友清 崇	村上 明子	【副科声楽】		
大島 幾雄 ●	篠原 百合乃	長尾 康世	森 麻季	北村 典子		

作曲

法倉 雅紀 * (主任)	石島 正博	原田 敬子	藤井 一興 ●	有吉 亮治 *	沼沢 淑音	北爪 裕道
金子 仁美 *	大家 百子	三瀬 和朗	栗 孝之 ●	清水 和音 *	林 達也	清水 篤
鈴木 輝昭 *	面川 倫一	▼作曲法演習	伊藤 康英	廻 由美子 *	三輪 郁	松波 匠太郎
土田 英介 *	香月 修	金子 仁美 *	新垣 隆	朴 久玲 *	吉田 真穂	山下 美香
森山 智宏 *	久木山 直	鈴木 輝昭 *	村上 寿昭	飯野 明日香	【副科作曲】	渡部 真理子
鷹羽 弘晃 ☆	清水 篤	土田 英介 *	▼作曲理論ピアノ	石岡 久乃	平井 正志	
正門 憲也 ☆	鈴木 純明	法倉 雅紀 *	法倉 雅紀 *	石島 正博	井上 渚	
池田 哲美	西岡 龍彦	野平 一郎 ●	土田 英介 *	加藤 真一郎	遠藤 真理子	

音楽学

安田 和信 * (主任)	沼野 雄司 *	西原 稔 □
--------------	---------	--------

大学 | 専門科目

ソルフェージュ

大橋 浩子 * (主任)	安西 房代	荻原 由紀子	清水 篤	築田 佳奈	松井 裕紀子
森山 智宏 *	飯塚 奈緒美	神本 真理	十川 菜穂	Laurent Teycheney	森 円花
法倉 雅紀 *	伊倉 由紀子	久保田 千裕	田口 真理子	中村 理奈子	柳川 瑞季
五十嵐 琴未 ☆	井澤 岳野	沢木 良子	田中 やよい	長谷川 由美子	山口 恭子
鈴木 しのぶ ☆	上田 真樹	塩崎 美幸	田端 ゆみ	百武 眞弓	
鷹羽 弘晃 ☆	岡島 礼	杉山 智恵子	塚田 真理	船橋 泉乃	

音楽学・音楽史

沼野 雄司 * (主任)	藤村 晶子 ☆	上田 泰史	葛西 周	佐藤 康太	伏木 香織	米田 かおり
梅津 時比古 *	今井 千絵	大津 聡	川本 聡胤	神保 夏子	前原 恵美	
安田 和信 *	池原 舞	岡田 安樹浩	佐々木 美奈子	沼口 隆	増野 亜子	

和声法・音楽理論・芸術音楽

法倉 雅紀 * (主任)	森山 智宏 *	池田 哲美	面川 倫一	小島 有利子	下山 静香	村上 寿昭
金子 仁美 *	藤井 一興 ●	伊藤 康英	勝田 友巳	Cathy Cox	新垣 隆	渡部 真理子
鈴木 輝昭 *	栗 孝之 ●	石島 正博	加藤 真一郎	今野 哲也	林 達也	
土田 英介 *	鷹羽 弘晃 ☆	井上 渚	久木山 直	齊藤 希史子	引地 誠	
梅津 時比古 *	正門 憲也 ☆	魚返 明未	工藤 真希子	篠田 昌伸	松波 匠太郎	

その他専門科目

▼ピアノ伴奏法	▼ピアノ・リテラチュア	渡部 智也	加藤 洋朗	▼指揮法	▼オーケストラ	▼弦合奏
藤井 一興 ●	楠原 祥子 ○	▼オペラクラス	塚田 裕之	高山 美佳	沼尻 竜典 *	市川 雅典 *
古高 晋一	▼ピアノ実技指導法	大橋 ゆり *	友清 崇	▼音楽療法	合田 香 *	神谷 美千子 *
▼伴奏クラス	玉置 善己 ●	腰越 満美 *	福永 一博	理論と技法	蠣崎 耕三 *	田中 晶子 *
小田 裕之	▼声楽ディクショ	宮本 益光 *	▼オペレッタ・	小宮 暖	亀井 良信 *	稲川 永示
松谷 園子	大橋 ゆり *	宮本 益光 *	ミュージカル演習	▼音の生理学	他	菊地 知也
▼ピアノ演奏法	宮本 益光 *	藤川 泰彰 ☆	鶴木 絵里	竹田 数章	▼室内楽講座	藤村 俊介
小森谷 泉 *	駒井 ゆり子	駒井 ゆり子	大津 康平	小野 順貴	藤井 一興 ●	

大学 | 語学科目・一般教養科目・教職課程科目

語学科目

▼ 英語 長瀬 浩平 * 三浦 大輔 ★ Jeremy Fulton ○ 磯西 翔子 大島 路子	奥野 元子 泉類 尚貴 高山 真梨子 田中 由香 間瀬 裕子 矢向 寛子	安野 直 ▼ フランス語 小森谷 朋子 佐藤 ローラ 十川 菜穂 角津 美愛	萩原 さがみ 山上 昌子 山邑 久仁子 ▼ ドイツ語 玉川 裕子 * Sabina Muriale	Stefan Säbel ○ 猪狩 弘美 大野 雄三 織田 晶子 川名 真矢 杉山 真佑美	武藤 陽子 吉村 暁子 ▼ イタリア語 米田 潔弘 * Vincenzo Spinuso ○ 鮎澤 由香理	▼ 日本語表現 西野入 篤男 ★ 内田 裕太 富澤 萌未
--	---	--	---	--	---	--

一般教養科目

▼ 自然科学・情報 姫野 雅子 * (主任) 里岡 純子	▼ 歴史・社会・哲学・芸術 米田 潔弘 * 浅野 充 大垣 美保子	小松 志朗 木下 頌子 千田 実 中山 夏織 原口 佳誠	水野 泰尚 南 孝典 ▼ 言語・文学 長瀬 浩平 * 西野入 篤男★	猪狩 弘美 角津 美愛 長井 淳 ▼ 体育・身体活動 荒巻 由紀 ★	阿部 史佳 伊澤 英紀 遠藤 記代子 小宮 暖 須関 裕子	野上 圭太 秦 江里菜
---	---	--	---	---	---	----------------

教職課程科目

谷 茂樹 * (主任) 杵鞭 広美 *	河原 勇人 ○ 石坂 浩毅	宇佐美 博子 江口 和美	狩野 浩二 竹下 善博	田中 正雄 宮城 哲	山本 剛
------------------------	------------------	-----------------	----------------	---------------	------

高校 | 専門科目

ソルフェージュ

五十嵐 琴末 ★ 鈴木 しのぶ ★	鷹羽 弘晃 ★ 安西 房代	加藤 千春 塩崎 美幸	塚田 眞理 百武 眞弓	船橋 泉乃 森 円花
----------------------	------------------	----------------	----------------	---------------

ピアノ初見

鈴木 しのぶ ★	鷹羽 弘晃 ★	大伏 啓太	河村 晋吾
----------	---------	-------	-------

音楽史

音楽理論

藤村 晶子 ★ 米田 かおり	正門 憲也 ★ 鷹羽 弘晃 ★ 藤村 晶子 ★	土田 英介 * 森山 智宏 * 石島 正博	井上 渚 加藤 眞一郎 桐山 温子	小島 有利子 Cathy Cox 下田 幸二	引地 誠 松波 匠太郎 渡部 真理子
-------------------	-------------------------------	-----------------------------	-------------------------	------------------------------	--------------------------

弦楽アンサンブル・弦楽オーケストラ

市川 雅典 * 神谷 美千子 * 長谷川 陽子 *	田中 晶子 * 稲川 永示 景山 裕子	清水 醍輝	藤川 泰彰 ★ 大橋 ゆり *	篠原 百合乃 塚田 裕之	小澤 英世 佐藤 勝重
---------------------------------	---------------------------	-------	--------------------	-----------------	----------------

独唱・合唱

室内楽(ピアノ)

高校 | 普通科目

外国語

▼ 英語 三浦 大輔 ★ Damian Macintosh ○	磯西 翔子 末松 紀子 鈴木 希	高岡 朱美 高山 真梨子 日比 使門	間瀬 裕子 宮崎 由美子	▼ ドイツ語 玉川 裕子 * 川名 真矢	杉山 真佑美	▼ フランス語 小森谷 朋子 山邑 久仁子
--	------------------------	--------------------------	-----------------	-----------------------------------	--------	------------------------------------

他科目

▼ 国語 西野入 篤男 ★ 内田 裕太 千田 実	▼ 地理歴史・公民 米田 潔弘 * 櫻井 絵美夏 笹村 剛	福川 幹夫 ▼ 数学・理科・情報 姫野 雅子 *	石井 眞紀子 上野 国子 土田 智美 増田 翔也	▼ 家庭科 川島 しずる 矢野 祐子	▼ 保健体育 荒巻 由紀 ★ 伊澤 英紀 須関 裕子	田中 優子 森 江里香
--	---	---------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	--	----------------

大学院

(修士課程・博士後期課程)

※ 主たる担当科目で分類しています。
◆ 専任教員で博士後期課程も担当
▲ 博士後期課程も担当

ピアノ

新井 博江 ◆ 小森谷 泉 ◆ 清水 和音 ◆ 中井 恒仁 ◆ 仲道 郁代 ◆ 奈良場 恒美 ◆ 広瀬 康 ▲ 廻 由美子 ◆ 阿部 美果子 ◆	有吉 亮治 ◆ 朴 久玲 ◆ 吉村 真代 ◆ 青柳 晋 有森 直樹 ▲ 伊藤 恵 今井 彩子 入江 一雄 上野 久子	江澤 聖子 海老 彰子 大西 真由子 大伏 啓太 岡本 美智子 金子 恵 川島 伸達 ▲ 河村 晋吾 木村 徹	後上 聡司 齋木 隆 ▲ 佐藤 彦大 清水 由香里 須田 眞美子 高田 匡隆 高橋 多佳子 竹内 啓子 田部 京子	玉置 善己 鶴園 紫磯子 外山 啓介 沼沢 淑音 練木 繁夫 ▲ 野島 稔 ▲ 三上 桂子 ▲ 三原 未紗子 三輪 郁	村上 弦一郎 ▲ 山崎 牧子 山田 富士子 ▲ 楊 麗貞 吉武 優 若林 顕 渡邊 康雄	▼ コレペティツィオン 田島 亘祥 ▼ 歌曲伴奏 星野 明子 ▼ 器楽特殊研究 武田 美和子
--	--	---	---	---	--	--

弦楽器

▼ ヴァイオリン・ヴィオラ 景山 誠治 ◆ 加藤 知子 ◆ 久保田 巧 ◆ 豊田 弓乃 ◆ 神谷 美千子 ◆ 田中 晶子 ◆ 池田 菊衛	石井 志都子 磯村 和英 伊藤 亮太郎 漆原 啓子 恵藤 久美子 木野 雅之 久保 良治 佐々木 亮 篠崎 功子	篠崎 友美 篠崎 史紀 清水 醍輝 清水 高師 庄司 紗矢香 鈴木 康浩 竹澤 恭子 辰巳 明子 店村 眞積	徳永 二男 戸田 弥生 豊嶋 泰嗣 原田 幸一郎 藤原 浜雄 堀 正文 ▲ 水谷 晃 山口 裕之	▼ チェロ 長谷川 陽子 ◆ 音川 健二 上村 昇 苅田 雅治 菅野 博文 菊地 知也 木越 洋 北本 秀樹	倉田 澄子 堤 剛 銅銀 久弥 古川 展生 松波 恵子 毛利 伯郎 ▲ 山崎 伸子	▼ コントラバス 市川 雅典 ◆ 新井 綾香 石川 滋 稲川 永示 西田 直文 星 秀樹 本間 達朗 渡邊 章成
--	--	--	---	---	---	---

声楽

大橋 ゆり ◆ 腰越 満美 ◆ 谷 茂樹 ◆ 宮本 益光 ◆ 大島 幾雄 ▲	落合 美和子 駒井 ゆり子 里中 トヨコ 篠原 百合乃 藪田 真木子	丹藤 麻砂美 塚田 裕之 友清 崇 長尾 康世 半田 美和子	藤川 泰彰 牧川 修一 松井 康司 村上 明子 森 麻季	安井 陽子 嘉目 真木子 与那城 敬 梅津 時比古 三浦 安浩 關根 壽代	▼ オペラ・歌曲・台本研究 太田 朋子 岸本 力 村上 寿昭 高松 美保
--	--	--	--	--	---

作曲理論

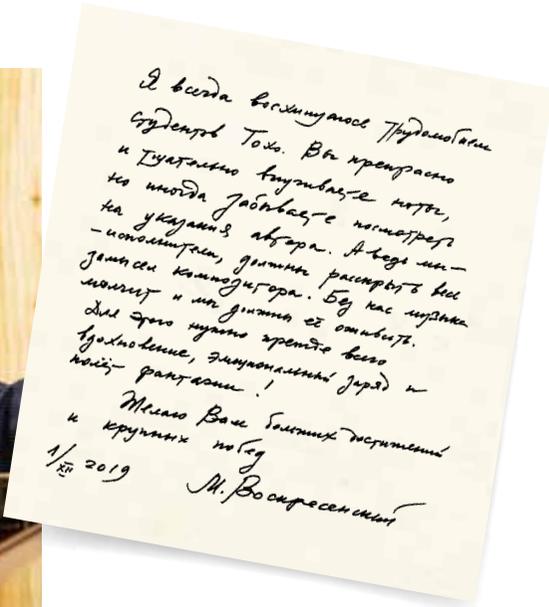
金子 仁美 ◆ 鈴木 輝昭 ◆ 土田 英介 ◆ 法倉 雅紀 ◆	森山 智宏 ◆ 池田 哲美 石島 正博 加藤 眞一郎	鈴木 純明 鷹羽 弘晃 藤井 一興 正門 憲也	三瀬 和朗 栗 孝之	沼野 雄司 ◆ 安田 和信 ◆ 伊東 辰彦 ▲ 今井 千絵 ▲	大津 聡 ▲ 佐藤 康太 西原 稔 ▲
--	-------------------------------------	----------------------------------	---------------	--	---------------------------

音楽学

特別レッスン

本学の教育の成果は海外にも広く知られ、本学の学生や教育システムに関心を持つ多くの演奏家や指導者が世界中から来校し、特別レッスンや公開講座を行っています。国際色豊かなレッスンは学生の視野を広げ、世界の舞台上で活躍する音楽家を育成します。

詳細はWebへ

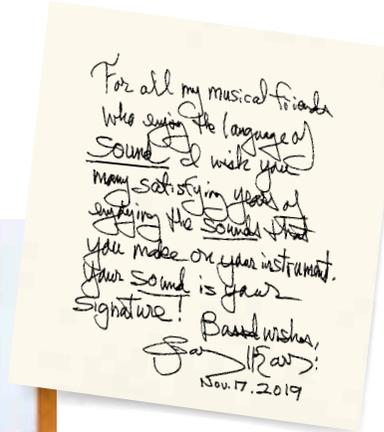


いつも私は、桐朋生のみなさんが努力する姿に感動しています。素晴らしい、そして詳細に音を暗譜していますが、時々、作曲家が記した表記を読み忘れてることがありますね。我々演奏家は、作曲家が記したアイデアすべてを解き明かさねばなりません。私達なしでは音楽は沈黙しており、私達は彼らが残した音楽を生き返らせなければならないのです。そのためにも、インスピレーションと、溢れる感情、飛翔する想像力が必要です。みなさんに、大きな達成と勝利を祈っています！ ミハイル・ヴォスクレセンスキー

コントラバス特別講座

ゲイリー・カー

コントラバス・ソリスト/
ヴィクトリア大学名誉博士



音楽という言葉を楽しむ友人たちへ、楽器から生み出す音を楽しみ、満喫する日々が続くことを願っています。みなさんの生み出す音は、みなさん自身なのです。幸運を祈っています。ゲイリー・カー

声楽特別レッスン

チャールズ・スペンサー

ウィーン国立音楽大学リート・
オラトリオ科教授



ここで再び、才能に恵まれた学生たちと音楽することは、とても大きな喜びです。チャールズ・スペンサー

特別レッスン音楽家一覧 (2017~2020年実績・一部抜粋)

有田 正広 (本学特任教授) / イヴ・アンリ (ピアニスト、パリ国立高等音楽院教授) / 石川 滋 (本学非常勤講師、読売日響ソロ首席奏者) / 出雲 蓉 (舞踏家) / 井上 勢津 (東京音楽大学講師) / 上原 彩子 (ピアニスト) / ミハイル・ヴォスクレセンスキー (モスクワ音楽院教授) / クリストフ・エス (バンベルク交響楽団首席ホルン奏者) / 海老 彰子 (本学特命教授) / 大畑 浩恵 (舞踊家) / ゲイリー・カー (カナダ・ヴィクトリア大学名誉博士) / 加古 隆 (作曲家、ピアニスト) / オリヴィエ・ギャルドン (ハノーファー音楽・演劇メディア大学教授、フランス国立パリ地方音楽院教授、ピアニスト) / ダニエル・ゲーテ (ニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授、元ウィーンフィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター) / 五嶋 みどり (ヴァイオリニスト) / アレクサンダー・コプリン (ピアニスト) / 近藤 謙 (作曲家、日本現代音楽協会理事) / ヴィルフリード・シュトレーレ (元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席ヴァイオリン奏者) / 白井 光子 (カールスルーエ音楽大学教授) / チャールズ・スペンサー (ウィーン国立音楽大学教授) / 竹澤 恭子 (本学特任教授) / タンブコ (打楽器アンサンブル) / パスカール・ドヴァイヨン (本学特任教授) / ナボン・ドロン (フェルデンクライス研究センター所長) / 仲道 郁代 (本学教授) / 野平 一郎 (本学特任教授) / 福士 則夫 (作曲家) / ニック・プフェッファアール (ブライトコプフ&ヘルテル社長) / ヴィレム・ブロンズ (アムステルダム音楽院教授、ピアニスト) / ハルトムート・ヘル (カールスルーエ音楽大学学長) / イエルーン・ヘルワルツ (ハノーファー音楽大学教授、トランペット奏者) / 堀米 ゆず子 (ヴァイオリニスト、ブリュッセル王立音楽院・マーストリヒト音楽院教授) / ギレアド・ミジョリー (ピアニスト、フライブルク音楽大学主任教授) / 八島 優 (チェンバロ奏者) / アンジェイ・ヤシンスキ (元ショパン国際コンクール審査委員長) / ヤコブ・ロイシュナー (デトモルト音楽大学ピアノ科主任) / パスカール・ロジェ (ピアニスト) / 鷲田 実土里 (舞踏家)

伝統ある生きた音楽を学び、教授の熱量を体感

ピアノ特別レッスン

ミハイル・ヴォスクレセンスキー

ピアニスト/チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院教授・ピアノ科長

チャイコフスキー、ラフマニノフ、プロコフィエフ、スクリャービンの時代からのロシア音楽の系譜を継ぐヴォスクレセンスキー先生のレッスンは、現代に息づくロシア音楽の伝統とロシアピアニズムを直接学ぶことのできる貴重な機会であり、演奏技術とともに先生の時代からのロシア音楽の系譜を継ぐヴォスクレセンスキー先生のレッスンは、現代に息づくロシア音楽の伝統とロシアピアニズム

を直接学ぶことのできる貴重な機会であり、演奏技術とともに先生の時代からのロシア音楽の系譜を継ぐヴォスクレセンスキー先生のレッスンは、現代に息づくロシア音楽の伝統とロシアピアニズム

voice

国際的な感覚で音楽を学び、さらなる成長を

ヨーロッパの歴史や文化にもふれながらご指導くださるので、いつもとは違った発見があります。指導内容や表現の方法も先生ならではのものが多く、作品への理解が深まったり、音の質感が変わったりと、レッスンをきっかけに表現の幅が広がりました。



桐朋学園大学
音楽学部 1年
ピアノ専攻
馬場 彩乃さん

ピアノ特別レッスン・ 公開講座

パスカル・ ロジェ

ピアニスト

きらきらと輝く、才能豊かな学生とのマスタークラスを忘れません。パスカル・ロジェ



ピアノ公開講座

ニック・プフェッファアール

ブライトコプフ&ヘルテル社長

300年にわたる音楽の歴史と、同じく300年の伝統を誇るブライトコプフ&ヘルテル社に多大なる関心を示してくださったみなさまに感謝申し上げます。ニック・プフェッファアール



Campus life

【桐朋生のキャンパスライフ】

桐朋学園の学生たちは同じ音楽を志す者として、互いに切磋琢磨できる環境の中で、日々練習に励んでいます。自身に合ったスタイルで過ごす学校生活。ここでは、学生のキャンパスライフの一部をご紹介します。

桐朋生の1日 …… 35 コンサートスケジュール… 40
 活躍する桐朋生 …… 38 キャンパスガイド …… 42

Our days

桐朋生の1日

個人に合ったスタイルで、授業や自主練習を通じて音楽の才能を伸ばしています。
 桐朋生の朝練習、夜練習、学生会館、3つのキャンパスライフをご紹介します。

Case 1
朝練



忙しくも充実した
学びと鍛錬の日々が
成長を促す

後上 しえるさん

桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）3年
ピアノ専門

4歳よりピアノをはじめ
 2010年 子供のための音楽教室（仙川教室）入室
 平田亜矢子氏に師事
 2019年 中井恒仁氏に師事

学校生活は忙しくもありますが、充実しています。朝の時間帯はアンサンブルの練習などの予定を調整しやすいこともあり、自然と早朝の練習が中心の生活になっていきました。専攻はピアノですが、桐朋に入学してからは、他の楽器の曲を学ぶ機会が格段に増え、演奏技術だけでなく音楽家としての教養も深まっていると感じます。

II 時間割（2年次）

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	音楽史	ソルフェージュ	英語	フランス語	体育実技II
2	英語	フランス語	音楽理論応用	数学A	ソルフェージュ
3	音楽理論応用	和声II	科学と人間生活	国語応用	現代社会
4			ホームルーム	合唱I	
5					



音楽について多角的に学ぶ

「科学と人間生活」という教科は、音の物理的な性質を勉強します。考えたことのない視点で音楽を学ぶことができ、興味深いです。



感性を刺激する、2台ピアノ

二人の考える曲のイメージが一致するよう、実際に歌って合わせたりもします。弾き方や気持ちがひとつになる感覚が楽しいです。



仲間と過ごす、大切な時間

クラスメイトはみんな仲が良いですね。弾き合いをしたり、文化祭の出し物をつくったりしてともに過ごす時間を大切にしています。

Case 2
夜練



充実した環境で
自分の音楽と
日々向き合う

川邊 宗一郎さん

桐朋学園大学 音楽学部 2年
弦楽器専攻 (ヴァイオリン)

3歳よりヴァイオリンをはじめ
2019年 第29回日本クラシック音楽コンクール
高校の部 第3位
2020年 石井志都子、漆原啓子両氏に師事
第77回東京国際芸術協会新人演奏会
オーディション 優秀新人賞 (第1位)

集中の波を持って行って、頭の冴えた状態で練習するために、授業が終わってから練習をはじめることが多いです。学校の練習室は一人で集中するのに最適な場所。音楽を究めるにはとても良い環境です。ヴァイオリンやピアノなど主専攻以外の楽器も勉強することで音楽の知識を深め、活動の場をより広げることができると感じています。

II 時間割 (1年次)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	音楽理論 (応用和声)		室内楽史	教育原論 (前期) 教職概論 (後期)	
2	英語 6-W	ソルフェージュ (SP III)	教育課程の意義と編成		日本語表現 3
3	日本文化史β	音楽理論 (分析)	英語 7-G		日本国憲法 Bα (前期) 情報処理 Dβ (後期)
4		ドイツ語 9	管弦楽史 I		
5			音楽理論 (分析)	オーケストラ 中級クラス (5・6限)	男声合唱

7:00 8:30 10:20 12:40 14:20 16:00 17:00 18:00 19:30 21:00

自宅
で練習
登校
授業
授業 (音楽理論)
授業
ヴァイオリンの練習
室内楽の合わせ
学校で練習
ピアノの練習
帰宅



より良い演奏につながる知識を
選択授業の魅力は、音楽をより専門的に学べること。音楽理論では授業ごとに様々なテーマを掘り下げ、視野が格段に広がります。



経験が、未来を拓ききっかけに
オーケストラでヴァイオリンのトップを務めてから、室内楽などでの演奏機会が増えました。副科でヴァイオリンを学ぶことも考えています。



相乗効果を生む、副科ピアノ
副科ピアノのレッスンでは、音楽的な内容以外に体の使い方なども勉強になります。大半の練習室にピアノがあるのも助かりますね。

Case 3
学生会館



広く深い学びと
数々の出会いで
成長を築いていく

大江 慧さん

桐朋学園大学 音楽学部 4年
弦楽器専攻 (チェロ) 選択副科: 声乐

7歳よりチェロをはじめ
2015年 佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラに
3年間在籍、首席チェロ奏者を務める
2018年 倉田澄子氏に師事
2019年 第73回全日本学生音楽コンクール
全国大会入選

通学などに時間を取られませんし、自室で思う存分練習ができる学生会館での生活は、音楽を学ぶ環境として最適だと感じます。同級生や先輩・後輩は客観的かつ新鮮な意見をくれるかけがえのない仲間。素晴らしい先生方のご指導を受け、上達を目指して努力するなかで、ふと振り返ったときに自分の成長を実感できる瞬間が嬉しいです。

II 時間割 (3年次)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1				音楽科教育法 II (前期)	生徒指導・進路指導 (後期)
2		ソルフェージュ (SPIV)	日本の言語と文学α (前期)	音楽科教育法 III	
3			音楽理論 (分析)	指揮法 A	
4		美術史	哲学α (前期) オペラ・オトリオ実演 (後期)		
5	音楽理論 (応用和声)			日本国憲法 (前期)	伴奏クラス I

7:00 9:30 10:20 12:40 14:20 16:00 18:00 19:00 21:00

自室
で練習
図書館で資料探し
授業
授業
授業
自室で練習
帰宅・夕食
自室で自習
声乐の練習



必要な資料や楽譜が、近くに
学生会館の近くに桐朋学園の図書館があります。楽譜や書籍が豊富に揃っていて、気軽に借りたり調べたりできるのが便利です。



仲間とつくる、理想の響き
室内楽のレッスンは本当にレベルが高いです。仲間と試行錯誤してアンサンブルを生み出していく過程にも、多くの学びがあります。



学びの多様性が、音を深める
歌は音楽の根幹。声乐を学ぶことで楽器の演奏でもイメージを膨らませやすくなりました。自室が防音なので夜の練習も快適です。

Our success

活躍する桐朋生

コンクール出場やオーケストラ参加など、様々なステージで活躍する桐朋生。
その経歴や活動内容、それぞれの想いについてご紹介します。



Pickup

考え、変わり続けることの大切さ

第 89 回 日本音楽コンクール
バイオリン部門
第 1 位、岩谷賞

北川 千紗さん

桐朋学園大学 大学院 音楽研究科
修士課程修了 弦楽器コース (ヴァイオリン)

思うように結果が出せないときは、ただ落ち込むだけでなく、「どうしてダメだったのか」「なぜ演奏に納得できないのか」を考え、変えていくことが大事だと感じます。過去の自分やプレッシャーに負けず、今の自分にとってベストな演奏を心がける。それが、成長や結果へと結びついていくのだと思います。



Pickup

音に深みを与える探究心を

第 89 回 日本音楽コンクール
バイオリン部門
第 2 位、E. ナカミチ賞

平野 友葵さん

桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学) 2 年
弦楽器専門 (ヴァイオリン)

コンクールの課題曲には高度なテクニックが要求されますが、一つひとつの音を大切にしながら、多様な表現を工夫することを意識して本番に臨みました。賞をいただいてからは、これまで以上に真剣に音楽と向き合うようになりました。学ぶ楽しさや探究心を忘れず、理想の音を追究していきたいと思えます。

Pickup

聴衆を惹きつける表現力を

第 89 回 日本音楽コンクール
ピアノ部門
第 2 位、岩谷賞

望月 晶さん

桐朋学園大学 音楽学部 4 年
ピアノ専攻

練習では、技術的な完成度を求めるだけでなく、楽譜を深く読み込むことを特に重視しています。一言一音に込められた作曲家の意図をくみ取り、その意図に共感して表現することを心がけています。「音楽が好き」「ピアノが好き」という気持ちを大切にしながら、これからも研鑽を続けていきたいと思えます。



コンクールでの活躍 (2020年度実績)

第 89 回 日本音楽コンクール

【ピアノ部門】

第 2 位 / 岩谷賞 大学 3 年・ピアノ 望月 晶さん
第 3 位 大学 2 年・ピアノ 三浦 颯太さん
入選 大学 4 年・ピアノ 荒井 玲奈さん

【バイオリン部門】

第 1 位 / 岩谷賞 修士 2 年・ヴァイオリン 北川 千紗さん
第 2 位 / E. ナカミチ賞 高校 1 年・ヴァイオリン 平野 友葵さん
第 3 位 / E. ナカミチ賞 修士 1 年・ヴァイオリン 高木 凜々子さん

【チェロ部門】

第 1 位 / 岩谷賞 / 増沢賞 / 黒柳賞 / 徳永賞
SD2018 修了・チェロ 水野 優也さん

第 74 回 全日本学生音楽 コンクール・全国大会

【ピアノ部門 高校の部】

第 3 位 高校 3 年・ピアノ 阿部 小百合さん

【バイオリン部門 高校の部】

第 1 位 高校 3 年・ヴァイオリン 木立 寛人さん
第 2 位 高校 1 年・ヴァイオリン 兼子 竜太郎さん

【チェロ部門 大学の部】

第 3 位 大学 3 年・チェロ 木村 藍圭さん

【チェロ部門 高校の部】

第 2 位 高校 1 年・チェロ 西田 翔さん
第 3 位 高校 2 年・チェロ 八木 雪舟さん

第 18 回 東京音楽コンクール

【ピアノ部門】

第 2 位 (最高位) / 聴衆賞 高校 2 年・ピアノ 谷 昂登さん

【弦楽部門】

第 3 位 高校 1 年・チェロ 北村 陽さん

第 32 回 日本ハーブコンクール

第 1 位 高校 1 年・ハーブ 小森 桃子さん

第 4 回 セルゲイ・スロニムスキー 国際作曲コンクール

第 2 位 修士 1 年・作曲 水谷 晨さん

第 30 回 出光音楽賞

SD2 年・ヴァイオリン 服部 百音さん

※紙面の都合で一部のみを掲載しています。(入賞時の学年を記載しています)

Our concerts

コンサートのスケジュール

本学主催・共催等の演奏会が数多く開催されます。その他公演および詳細は、ホームページの「演奏会情報」でご案内していますのでご覧ください。

- 4月**
- 11 (日) **卒業演奏会 ①**
紀尾井ホール
 - 25 (日) **卒業演奏会 ②**
紀尾井ホール
 - 27 (火) **声楽コンサート**
桐朋学園宗次ホール
- 5月**
- 10 (月) / 12 (水) **管楽アンサンブルの夕べ**
桐朋学園宗次ホール
 - 24 (月) **第103回 室内楽演奏会**
桐朋学園宗次ホール

スタート
コンサートに出発!



高麗 愛子さん
桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学) 3年
弦楽器専門 (ヴァイオリン)

**先輩のアドバイスが
背中を押してくれた**

桐朋はコンサートなどの演奏機会が豊富。共演ピアニストの先輩の助言が、演奏をアップデートしてくれました。

- 6月**
- 1 (火) **ヴィオラスペース**
紀尾井ホール
 - 7 (月) **高校 Student Concert ①**
桐朋学園宗次ホール
 - 9 (水) **高校 Student Concert ②**
桐朋学園宗次ホール
 - 14 (月) **大学 Student Concert ①**
桐朋学園宗次ホール
 - 16 (水) **第104回 室内楽演奏会**
桐朋学園宗次ホール
 - 18 (金) **第43回 作曲作品展**
東京オペラシティ・リサイタルホール
 - 21 (月) **大学 Student Concert ②**
桐朋学園宗次ホール
 - 26 (土) **オーケストラ演奏会**
指揮：齋藤 友香里
調布市グリーンホール 大ホール
- 8月**
- 30 (月) **桐朋ピアノ・コンペティション (本選)**
府中の森芸術劇場 ウィーンホール



学内コンペ優勝、
コンサートも演奏!

荒井 玲奈さん
桐朋学園大学 大学院 音楽研究科 修士課程 1年 ピアノコース
.....
魅せること、伝えることの大切さを深く実感
オーケストラとつくる音楽は難しくもやりがいがあり、大学生生活の集大成ともいえる素晴らしい経験になりました。

- 1月**
- 14 (金) **合唱の夕べ**
府中の森芸術劇場 ウィーンホール
 - 15 (土) **オーケストラ演奏会**
調布・くすのきホール
 - 19 (水) **弦楽オーケストラ演奏会**
指揮：清水 麗輝
桐朋学園宗次ホール
- 3月**
- 5 (土) **大学ピアノ専攻卒業演奏会**
浜離宮朝日ホール
 - 26 (土) / 27 (日) **音楽大学フェスティバル・オーケストラ**
ミュゼ川崎、東京芸術劇場

室内楽演奏会に
フルートデュオで
出演!



沖田 彩歌さん
青木 陽香さん
桐朋学園大学 音楽学部 4年
管楽器専攻 (フルート)
.....
**呼吸を合わせながら、
曲を組み立てていく**
それぞれが表現したいことをひとつの曲にどう落とし込むかを工夫しました。二人の呼吸が合う瞬間が嬉しいです。

- 10月**
- 8 (金) **サントリーホール フレッシュ・オペラ**
指揮：村上 寿昭
サントリーホール
 - 13 (水) **大学 Student Concert ③**
桐朋学園宗次ホール
 - 18 (月) **第13回 桐朋ピアノ・ガラコンサート**
調布・くすのきホール
 - 19 (火) **大学 Student Concert ④**
桐朋学園宗次ホール
 - 31 (日) **NAGAREYAMA 国際室内楽音楽祭**
指揮：矢崎 彦太郎
スターツおおたかの森ホール

- 11月**
- 23 (火・祝) **音楽大学オーケストラ・フェスティバル**
指揮：沼尻 竜典
ミュゼ川崎 シンフォニーホール

- 12月**
- 3 (金) **チェロアンサンブル**
府中の森芸術劇場 ウィーンホール
 - 7 (火) **第40回 パーカッションの夕べ**
調布・くすのきホール
 - 13 (月) **ハープアンサンブルの夕べ**
桐朋学園宗次ホール
 - 18 (土) **第31回 Symphonic Winds 演奏会**
桐朋学園宗次ホール

桐朋 木の香りコンサート

音楽教室に通う小中学生から、高校生・大学生・大学院生まで…桐朋で学ぶ学生・生徒が出演するコンサートです。開催予定やプログラムなどはTwitterに随時掲載していますので、ご確認ください。



@toho_kinokaoiri



©Hikaru. ☆

Pickup

仙川キャンパスに新校舎ができました！



既存の校舎同様、隈研吾氏デザインの木造の校舎。ホール部分はCLTを構造体だけでなく、仕上げ材としても使っています。建物内の天井や壁はCLTそのものです。外観に見られるルーバーは、ピアノやバイオリンなど楽器の弦をイメージしています。ルーバーには、角度に違いをつけており、外から見ると角度によって建物全体の表情が変化します。

隈研吾氏自身の語ったデザインコンセプトはこちら



1. エントランスの壁や階段はCLTの断面模様 2. 外光を取り入れるため教室は窓を大きく 3. レッスン室は練習室としても使用可能

心地よい響きの「桐朋学園宗次ホール」

舞台上で学ぶ。様々な演奏会や、フル編成のオーケストラも大ホールでの本番に向けた練習ができる広い舞台。2階の歩廊が室内全体を取り囲み、空間を包み込みます。ウィーン楽友協会同様、ワイヤーで吊り下げたマイクで録音が行えます。



ロゴマークは宗次ホールのイニシャル「M」をもとに、ピアノや弦楽器に見られる曲線、タクトや打楽器のバチの直線などを限りなく単純化してつくられました。

toho gakuen munetsugu hall
桐朋学園宗次ホール

仙川キャンパス

2017年に完成した仙川キャンパスは、木造ならではの快適な音環境を提供し、桐朋生に愛される学び舎として定着しています。2021年、現校舎に隣接して新校舎が建設され、仙川と調布の両キャンパスに分散していた授業のほとんどを仙川キャンパスで実施することになりました。高大が渾然一体となり、桐朋らしい活気あふれる交流の場を生み出すことでしょう。



アネックス

〒182-8510 東京都調布市若葉町 2-19-47

仙川キャンパスから徒歩約10分の場所に、音響面、デザインともに高い評価を受けている「アネックス」があります。大小様々な広さの15室を有し、主にレッスンで使用されています。

調布キャンパス

2016年日本建築学会作品選奨、2019年日本建築学会賞（作品）を受賞し、ユニークな設計に合理性と機能性を兼ね備えた建物として親しまれてきました。2021年度は仙川キャンパス新校舎完成に伴い、調布キャンパスで行われていた授業のほとんどを仙川キャンパスに移行するため、調布キャンパスはその役割を変え、主に大学院生のための研究施設として新たなステージへと踏み出します。



調布図書館

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘 3-3-5

約29万点の資料が学習や研究をサポートします。仙川図書館でも同様のサービスを受けられます。



学生会館

調布市調布ヶ丘（京王線調布駅より徒歩約15分）

女子生徒・学生のための防音ワンルーム型マンションです。詳細は本学ホームページをご覧ください。

仙川キャンパス・調布キャンパス
保健室・学生相談室

桐朋生の皆さんが安心して充実した学校生活を送れるよう、保健スタッフもサポートします。保健室には看護師が常駐し救急対応と健康相談を行い、学生相談室では学校生活に関する様々な相談に応じます。病気や障がいのために特別な配慮を必要とする方も、こちらでご相談ください。

Next stage

【桐朋生の進路・進学】

音楽を究め続けるあなたの人生には、これからも様々な選択肢があります。桐朋学園では、留学をはじめ、進路や進学について学生一人ひとりに寄り添いサポートしています。

高校卒業後の進路 …… 45	大学院への進学 …… 48
大学卒業後の進路 …… 46	特待生・奨学金制度 …… 49
留学について …… 47	入試情報 …… 50

Next stage

高校卒業後の進路

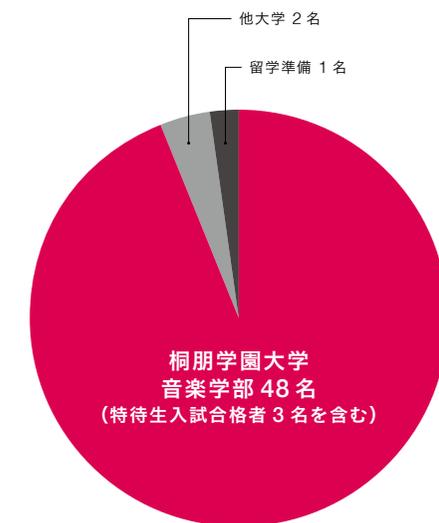
桐朋学園大学への進学のほか、 実技に特化したコースへの道も

桐朋学園では、高校から大学まで一貫した音楽教育を実践しています。大多数の生徒が指定校推薦制度で桐朋学園大学音楽学部への進学を希望し、ソリスト・ディプロマ・コースやカレッジ・ディプロマ・コースなどの実技に特化したコースに進学する生徒もいます。その他では、留学や他大学への進学を選択する生徒もいます。

桐朋学園大学音楽学部への推薦基準

桐朋女子高等学校音楽科を卒業見込みの者で、桐朋女子高等学校校長が推薦し、次の要件を満たす者。

- ・ 高校在学中の授業および実技レッスン（副科ピアノ、理論科ピアノなども含む）への出席が良好で、平日頃より勉学の意欲を持つ者。
- ・ 素行、生活態度が桐朋学園大学音楽学部に推薦するにふさわしいこと。
- ・ 卒業に必要な科目の単位をすべて修得する見込みであり、次の科目については、高校3年次に一定以上の成績を修めていること。
【専門実技／聴音・ソルフェージュ／和声法／音楽史】



▶ 2020年度の卒業生進路 (卒業生51名)

Other course

桐朋独自の多様な学び場

▶ ソリスト・ディプロマ

受験資格：中学校卒業以上の者

ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルートにおいて、ソリストとしての将来性を有すると認められた者を対象に、実技の重点的教育を行うことを目的としたコースです。

▶ オープンカレッジ「指揮コース」

受験資格：高等学校卒業以上の者

桐朋学園大学の指導陣による「指揮実技」のレッスンを年間24回受講することができるコースです。

▶ 研究生

受験資格：大学音楽学部卒業以上の者

音楽大学の卒業生で、さらに実技の研究を深めたい者のために設置されています。

設置専攻 管楽器／打楽器／ハープ／古楽器／指揮／作曲／音楽学

▶ カレッジ・ディプロマ

受験資格：高等学校卒業以上の者

実技を中心とした自由で高度な専門教育を行うコースです。

▶ 科目等履修生

受験資格：高等学校卒業以上の者

学科系の講座の単位修得を目的として受講するコースです。実技は受講できません。

※詳細は本学ホームページ (<https://www.tohomusic.ac.jp/>) をご覧ください。

大学卒業後の進路

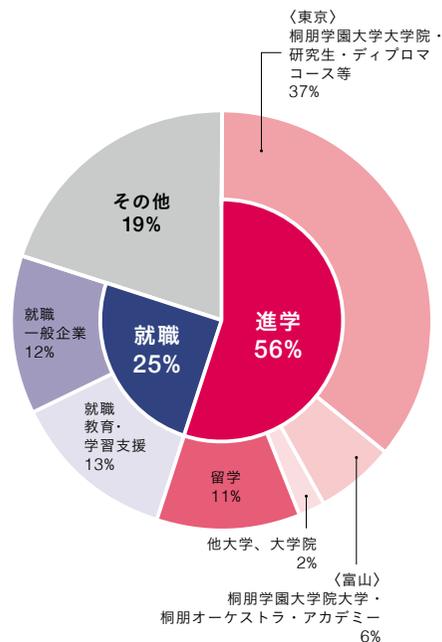
さらなる研鑽を積むために多くの学生が進学を選択

5割近い学生が桐朋学園の大学院や研究科、桐朋オーケストラ・アカデミーへ進学する他、新たな活動拠点を求めて海外留学する学生も多数います。また、桐朋で学んだ専門性を生かし、教育・学習支援機関や音楽関連企業などへ就職する学生もいます。

桐朋オーケストラ・アカデミー

プロのオーケストラ・プレイヤーの育成を目的とした研究機関で、弦・管・打楽器奏者を主な対象としています。富山市との連携による演奏会や、大学院大学との共同企画、海外留学生との交流など、多彩な活動を行っています。

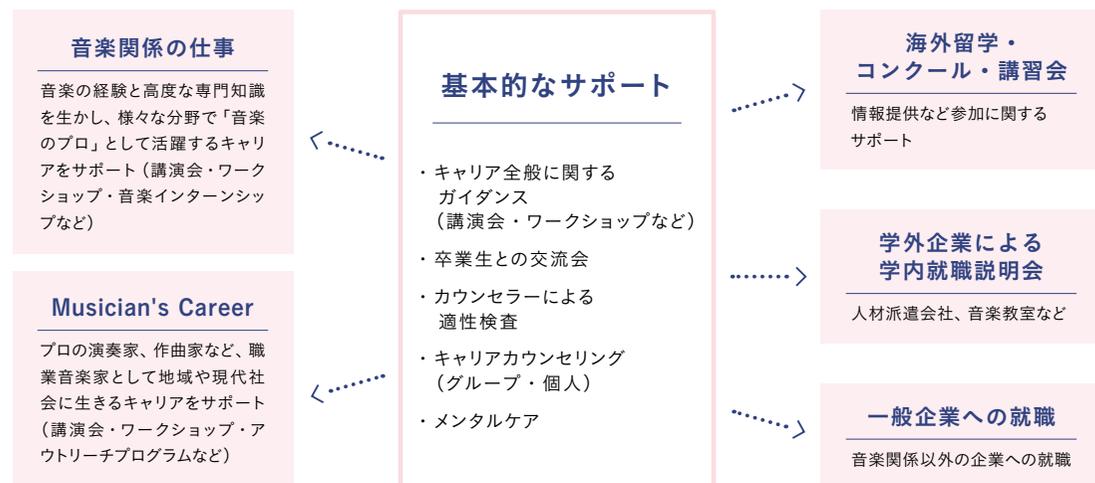
富山キャンパス
〒930-0138 富山県富山市呉羽町1884-17



▶ 2019年度の進学就職者実績 ※ (卒業生180名)

キャリアサポート

選択肢を絞るのではなく、可能性を広げる——それが、桐朋のキャリア支援の理念です。幅広い視野を身につけ、自分自身とじっくり向き合い、世界でたったひとつの、あなたならではの人生を開拓してください。キャリア支援センターでは、その模索と実現を後押しすべく、それぞれの未来に目を向けたアドバイスを行っています。



留学について

個々の主体性を尊重する、目的に合わせた留学支援

音楽家を志したときから、留学を視野に入れている人も多いのではないのでしょうか。桐朋学園では一人ひとりの目的に合った留学が計画できるように有益な情報を提供しています。高校から大学院までの間でいつ留学するかは個人次第です。それぞれのタイミングで海外へ向かう桐朋生をサポートします。

留学するために

在学中に1～2週間の短期留学で情報収集をしたり、セミナーや音楽祭で出会った音楽家へアプローチしたりと、留学先や師事する先生の選び方は様々です。本学では、海外を拠点に活躍する卒業生の人脈や、留学経験を持つ講師や身近な先輩からも情報を得ることができます。また、サンタ・チェチリア音楽院、ケルン音楽大学、デトモルト音楽大学との短期交換留学制度もあります。

留学先（2019年実績）※

パリ国立高等音楽舞踊学校、エコールノルマル音楽院（パリ）、スコラ・カントルム音楽院、ウィーン国立音楽大学大学院、グラーツ国立芸術大学、フォアアールベルク州立音楽院、リューベック音楽大学、ハノーファー音楽大学大学院、プラハ音楽院、ショパン音楽大学、他多数。（留学準備中含む）

先生選び	情報収集	コンタクト
先生からの推薦や、卒業生や先輩からの紹介、特別レッスンの招聘教授など、師事したい先生を選びます。	パスポートやビザの準備をはじめ、ホームステイ先・寮・アパートなどの生活拠点について情報を収集します。	師事したい先生や学校への推薦状の用意、願書の添削などのサポートを受けながら留学先にコンタクトを取ります。

▶ **留学**

留学中の先輩の声



留学先：
ショパン音楽大学（ポーランド）
南波 佑美さん
桐朋学園大学
ピアノ専攻
2018年卒業
プロニスワヴァ・カヴァラ教授に師事
滞在期間：2018年10月～現在

事前の情報収集が要

先生からのアドバイスや、同じ留学先を希望する同級生、現地の先輩との情報交換は、留学の準備を進める上でとても参考になりました。留学先の教授は、どんな曲を演奏してもすぐに私の課題を把握して指導してくださるのでとても勉強になります。文化や語学面での苦労はありますが、周囲の方に助けていただきながら多くのことを学んでいます。



留学先：
ハンブルク音楽演劇大学（ドイツ）
大内 遥さん
桐朋学園大学
弦楽器専攻（ヴァイオリン）
2018年卒業
クリストフ・シッケダッツ教授に師事
滞在期間：2018年10月～現在

将来を見据え、世界へ

バレエ団や劇場が多数存在するドイツなら将来の参考になると思い留学を決意。現地の授業はディスカッションやプレゼンテーションが多く「自ら会得していくこと」が求められます。しかし、桐朋での多数の演奏会経験で、何ごとにもトライする姿勢が身につけていたので、留学先でも臆することなく挑戦することができています。

Next stage

大学院への進学

より深く、洗練された 音楽知識と技能の習得を目指して

2017年4月、日本の音楽教育発展の先導役を担う教育・研究機関として仙川・調布両キャンパスに大学院を開設。実践的なカリキュラムを通じて、広く音楽界で活躍できる演奏家の養成、深い音楽的知識や教養を有する教育者や研究者の養成を目指します。



修士課程 標準修業年限：2年

養成しようとする人材

- ・確かな実践能力や豊かな知識をもって活躍できる演奏家

▶ カリキュラム・ポリシー

大学院音楽研究科は、音楽実践に不可欠な高度な能力を習得し、自立した音楽活動を行うにあたって必要な能力を養うことを目的とする。その目的のために、各コースの特質に適合した教育課程を編成している。修士課程は2年以上の在学期間に、コースごとに開設される実技あるいは実習・演習などを履修し、また、学術的研究を支える関連科目を所定の範囲で履修しなければならない。学位審査は、修了演奏／作品および研究レポート、または修士論文によって行われ、合格者は修士（音楽）の学位を授与される。

ピアノコース	ソロ／歌曲伴奏／コレペティション
弦楽器コース	ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス
声楽コース	オペラ／歌曲
作曲コース	
音楽学コース	

博士後期課程 標準修業年限：3年

養成しようとする人材

- ・極めて高度な知識と教養及び卓越した技能を備え、音楽に関する学術的な研究を自立的に行うことができ、将来、主に高等教育機関において教育者、研究者として活躍できる人材
- ・豊かな学識に裏打ちされた実践能力によって、世界の音楽界で中核的指導力を発揮できる人材

▶ カリキュラム・ポリシー

専門領域における極めて高度な知識、教養、見識及び卓越した技能をもって研究及び演奏を行う能力を獲得する。修了後は高等教育機関で教育や研究に従事するために必要な問題発見能力、課題解決能力、他の専門領域や他者の知見を理解しクリティカルに検証する能力を習得する。また、教育研究を持続的に推進する人材として、社会や文化に対する広い視野と高い見識を培う。

ピアノ・弦楽器・声楽・作曲・音楽学研究領域

ピアノ・弦楽器・声楽・作曲・音楽学の5つの研究領域において、各自専門の学術研究・実技研究を実施。計画的に研究を進め、積極的に議論や発表を行うことで、音楽研究に必要な方法論や技術を習得。各自の研究成果は研究演奏や博士論文にて発表。修了までに学術研究・実技研究の一体化を目指す。

Other

▶ 桐朋学園大学院大学

（富山市）
【音楽研究科 演奏研究専攻（修士課程）】

設置専攻 ピアノ／ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ
アンサンブルを重視した実技研究を特色としています。

Scholarship student

特待生制度

特待生入学試験合格者、入学試験、または、所定の学内試験で専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた学生に、「入学金」「運営維持費」「授業料」などの全額または一部免除をもって、これを顕彰する特待生制度を設けています。

▶ 2021年度実績

桐朋女子高等学校	9名	*入学金・施設拡充費 80万円 免除2名 *運営維持費・施設拡充費一部 41万400円 免除1名 *運営維持費一部 20万円 免除6名
桐朋学園大学	20名	*入学金・授業料一部 128万円 免除3名 *授業料・施設設備費・運営維持費 200万円 免除1名 *入学金・運営維持費 90万円 免除3名 *運営維持費 30万円 免除5名 *運営維持費一部 20万円 免除7名 *運営維持費・施設設備費一部 41万円 免除1名
桐朋学園大学院	3名	*授業料一部 30万円 免除2名 *授業料一部 20万円 免除1名
ソリスト・ディプロマ・コース	6名	*受講料・施設設備費 100万円 免除1名 *受講料一部 20万円 免除2名 *受講料一部 10万円 免除3名

Scholarship

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な学生を対象に各種の奨学金制度を設け、多くの学生の勉学の支えとなっています。

▶ 桐朋独自の奨学金制度 ※すべて給付奨学金です。

01 桐朋学園音楽部門奨学金

成績が良好で心身ともに健全であり、経済的理由で就学が困難な学生・生徒に対し、1年毎に選考を行い給付されます。

2020年度 高校：授業料の3割 7名／2割 2名／1割 2名
大学：授業料の4割 9名／3割 19名／2割 24名／1割 28名
大学院：授業料の2割 7名／1割 3名
ソリスト・ディプロマ：受講料の2割 1名／1割 2名

02 桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた学生・生徒に対し給付されます。

2015年度 1名 50万円

03 桐朋学園音楽部門芸術教育整備・拡充資金及び奨学金基金奨学生

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た学生・生徒に給付されます。

2019年度 1名 授業料一部（30万円）免除（大学院生）

04 宗次徳二桐朋学園大学 大学院特待奨学金

宗次徳二氏の寄附により設立され、成績が優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な本学の大学院生に給付されます。

2021年度 5名 各 120万円

05 桐朋学園音楽部門同窓会奨学金

桐朋学園音楽部門同窓会から、向学心があり心身ともに健全で、経済的理由によって就学が困難な大学2年生を対象に給付されます。

2020年度 6名 各 10万円

06 チェロアンサンブル・サイトウ奨学金

当該年度の入学試験で、秀抜なる評価を得たチェロ専攻の学部学生に給付されます。

2021年度 1名 20万円／2名 各 10万円
（学部生、ソリスト・ディプロマ生）

07 桐朋学園音楽部門留学支援奨学金 「江崎スカラシップ」

江崎正道氏の寄附による留学支援奨学金。大学生以上のピアノ専攻生が対象。在学中に海外高等教育機関へ留学をする者に一人当たり500万円が支給されます（年間2名まで）。

2020年度 1名 500万円

【その他の奨学金】※給付、貸与など、様々な奨学金があります。

- 日本学生支援機構奨学金
- 各都道府県・地方公共団体奨学金
- 企業、交通遺児育英会等の奨学金

入試情報

本学は、以下3つをアドミッション・ポリシーとして、入学者に求める学生像の方針を定めています。

- ・音楽表現に対する能力や意欲を有し、自己の目標を持っている者
- ・音楽文化に関する知識と技量を習得し、社会の発展に貢献する意思のある者
- ・音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

▶ 夏期・冬期講習

受験準備のための講習会を、夏期と冬期に開催しています。入学試験に準じた模擬試験や、模擬試験をふまえた授業・レッスンを行いますので、ぜひ活用してください。

夏期講習

7/17～7/20 (変更の可能性あり※)
 受講申し込み期間：6/14～7/1
 講習科目：a. 専攻実技 (模擬試験、個人レッスン) b. 新曲視唱・聴音 (模擬試験、授業、相談) c. 楽典 (模擬試験、授業) d. 和声 [作曲・指揮のみ] (模擬試験、授業) e. 副科ピアノ (演奏と講評) f. 作曲理論ピアノ [作曲・指揮のみ] (模擬試験、個人レッスン)

冬期講習

12/25～12/26
 受講申し込み期間：11/26～12/6
 講習科目：a. 専攻実技レッスン b. 新曲視唱・聴音 (模擬試験、授業) c. 楽典 (模擬試験、授業) d. 和声・作曲授業 [作曲・指揮のみ] e. 副科ピアノ (演奏と講評) f. 作曲理論ピアノ [作曲・指揮のみ] (演奏と講評)

募集要項	2021			2022		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高校 桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学) 推薦第一種入学試験 募集専門：管楽器/打楽器/ハープ/声楽/作曲 推薦第二種入学試験 ※桐朋女子中、桐朋中出身者対象 募集専門：ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/声楽/作曲 一般入学試験 募集専門：ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/声楽/作曲		願書受付 11/1～5 ※郵送必着 学校推薦型選抜 (一般) 試験 11/28 合格発表 12/7		願書受付 1/15 ※郵送必着 推薦 (第一、二種) 入学試験 試験 1/22 合格発表 1/22	願書受付 1/25～2/4 ※郵送必着 一般 入学試験 試験 2/14～16 合格発表 2/18	
大学 桐朋学園大学 音楽学部 総合型選抜 (特待生) 募集専攻：ピアノ/弦楽器 学校推薦型選抜 (一般) 募集専攻：弦楽器cb/管楽器/打楽器/ハープ/古楽器/声楽/作曲/音楽学 一般選抜 (一般・編入) 募集専攻：ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/古楽器/声楽/指揮/作曲/音楽学 飛び入学試験 ※高校2年次修了から大学へ。 募集専攻：ピアノ/弦楽器	願書受付 10/15～19 ※郵送必着 総合型選抜 (特待生) I 期 (AO方式) 一次試験 (書類審査) 二次試験 11/6 合格発表 11/10	願書受付 11/15～26 ※郵送必着 総合型選抜 (特待生) II 期 (AO方式) ※「飛び入学試験」が同時期にあります 一次試験 (書類審査) 二次試験 12/15 ピアノ、12/16 弦楽器 合格発表 12/17		願書受付 1/5～17 ※1/17 消印有効 一般選抜 (一般・編入) 試験 2/10～14 合格発表 2/18		
大学院 桐朋学園大学大学院音楽研究科 (修士・博士後期) 募集専攻：ピアノ/弦楽器/声楽/作曲/音楽学	願書受付 10/15～19 ※郵送必着 修士課程 試験 11/6～7 合格発表 11/10			願書受付 1/5～17 ※郵送必着 博士後期課程 試験 2/7～8 合格発表 2/9		
ディプロマ ソリスト・ディプロマ・コース ソリストとして将来性を有すると認められた者を対象に高度な実技教育を目的としたコースです。 募集専攻：ピアノ/ヴァイオリン/チェロ/フルート 受験資格：中学校卒業以上 カレッジ・ディプロマ・コース 実技を中心とした教育を受けるコースとして設置され、幅広い年齢層の学生が在籍しています。 募集専攻：ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/古楽器/声楽/指揮/作曲/音楽学 受験資格：高等学校卒業以上		願書受付 11/15～26 ※郵送必着 ソリスト・ディプロマ・コース 試験 12/15 ピアノ、12/16 ピアノ以外 合格発表 12/17			願書受付 2/8～22 ※郵送必着 カレッジ・ディプロマ・コース 試験 3/1 合格発表 3/4	



桐朋学園大学 音楽学部
桐朋女子高等学校 音楽科
(男女共学)

仙川キャンパス

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1
TEL.03-3307-4101 FAX.03-3307-4354

調布キャンパス

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1
TEL.042-444-7055 FAX.042-444-7056

<https://www.tohomusic.ac.jp/>